

## 第2編 三重県民力ビジョン・第二次行動計画における事業概要

### I 政策展開の基本方向「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

#### 政策 1 防災・減災

施策	:	112 防災・減災対策を進める体制づくり
基本事業	:	11204 災害医療体制の整備

#### 主な取組内容

・災害時の医療体制の整備のため、管内災害拠点病院との連携を図ります。また、災害直後から災害用医薬品等の供給が速やかに行われるよう、災害拠点薬局等の協力を得て、医療救護活動に必要な医薬品等の調達、分配を行います。

#### 1 災害医療体制

##### (1) 災害拠点病院（三重県地域防災計画の指定による）

災害拠点病院とは、大規模災害発生時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うための高度診療、被災地からの重症患者の受入れ及び広域搬送への対応、医療救護班の派遣、地域の医療機関への応急用資材の貸し出しを担う病院として、三重県知事が指定している病院です。

名称	所在地
国立大学法人三重大学医学部附属病院	津市江戸橋2丁目174
独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター	津市久居明神町2158番地5

##### (2) 災害拠点薬局（災害拠点薬局等指定要領による）

災害拠点薬局とは、大規模災害発生時に支援薬剤師受入、医薬品の供給等の拠点となる薬局として、三重県知事が指定している薬局です。

名称	所在地
三重県薬剤師会会営久居調剤薬局	津市久居明神町風早2093-1

## 2 津地域災害医療対策会議の実施

平時から地域の関係機関が災害医療対策について協議する場として、津地域災害医療対策会議を設置しています

【構成員】津地区医師会、久居一志地区医師会、国立大学法人三重大学医学部附属病院、独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター、津歯科医師会、津薬剤師会、津市消防本部、津警察署、津南警察署、津市（地域医療推進室、危機管理課）、津地域防災総合事務所、津保健所

開催日及び開催場所	議題等
令和2年2月27日(木) 津庁舎 66 会議室	(1) 津保健所管内の災害時における情報伝達経路について (2) 情報伝達の具体的な事例について <ul style="list-style-type: none"><li>● EMIS（広域災害救急医療情報システム）による医療機関情報</li><li>● 危険物保有施設情報</li></ul>

## 3 津地域災害医療コーディネーター

地域災害医療コーディネーターは、大規模災害発生時に混乱しがちになる現地において、災害医療クラスターミーティングの開催、病院・救護所への医療チーム等の派遣調整、状況やニーズの把握、災害拠点病院内に設置される DMAT 活動拠点本部や他機関との調整などの業務を行ないます。

所属	役職	氏名
三重大学医学部附属病院	講師	石倉 健
三重中央医療センター	医師	浦田 康久
津地区医師会	理事（たかはし内科）	高橋 岳夫
久居一志地区医師会	理事（一志眼科）	豊田 浩司

委嘱期間：平成31年4月1日から令和3年3月31日